

# 境港 商工会議所 ニュース

発行所／境港商工会議所

## 海藻で作った肥料を市に贈呈 給食用の米づくりに活用して

— NPO未来守りネットワーク —



ミネラル海藻を手にする中村勝治・境港市長(右)と奥森隆夫理事長

NPO未来守りネットワーク(元町、奥森隆夫理事長)は2月20日、境港市に中海の海藻で作った肥料「ミネラル海藻」を50袋贈呈しました。

1960年ごろまでは、中海の水中に茂った海藻が刈り取られ、肥料に利用されていきました。しかし、安価な化学肥料が普及したため、このオゴノリ肥料の利用はすたれていきました。

同ネットワークは、オゴノリを肥料に利用することで、米の味が向上すること、水質浄化や魚介類の産卵場の育成につながるという一石二鳥の効果に着目し、積極的に採取を行っています。

ミネラル海藻は、採取したオゴノリを新和産業(株)(元町、奥森清社長)がペレット(長さ1cm程度)型の肥料に仕上げたもの。

同ネットワークは、日野町の農家とともに、ミネラル海藻を使った米「海藻米」の生産を同町で取り組み、各種のお米コンクールで優秀な成績を上げています。

同ネットワークは、日野町の農家とともに、ミネラル海藻を使った米「海藻米」の生産を同町で取り組み、各種のお米コンクールで優秀な成績

野町の農家とともに、ミネラル海藻を使った米「海藻米」の生産を同町で取り組み、各種のお米コンクールで優秀な成績

中村勝治・境港市長は「中海浄化のために回収した海藻の肥料で栽培した米を子どもたちが食べることは、地産地消の推進だけでなく、環境教育の面でも意義がある」と述べ、ミネラル海藻を全面的に活用することを約束しました。

平成27年4月1日(水)発行  
「境港商工会議所ニュース」  
2015. 4月 No. 556掲載